

10月14日 南本町（南本町会館にて）

〈主なやり取りと対応状況〉

* 対応状況は⇒です。

- 藤沢市が人口増の理由は調べているか。
 - ⇒ 藤沢市は移住者を受け入れることができるマンションの影響が大きいと考えています。
町では転入された方をお願いしているアンケートでは、海や自然、環境の良さから転入をされたと把握しています。これからも「住まい」をどのように提供するか、その中でも空き家の利活用が課題です。
- マンションなどができると子どもも増えていくと思う。茶屋町や北本町など子ども的人数が減少し、祭りの担い手が不足していることが問題になっている。
 - ⇒ 大磯町ではマンションなど集合住宅より一戸建に住みたいという転入希望が多いと感じています。しかし、空き家を売却したり賃貸したりという物件の供給が足りない状況となっています。
- 人口減少について大磯町と同じ規模の自治体の状況はどうか。
 - ⇒ 開成町については増加傾向ですが、その他の町や村は減少傾向です。
- 大磯町は不便さが弱点であると思う。
 - ⇒ 他の地域同じようにバスが減便するなどの話も出ています。デマンドバスなど小回りが利く交通手段を検討しています。
- 観光についての考え方は。
 - ⇒ 今までの考え方と違い、しっかりと財源になる観光にしていきます。例えば税外収入として、大磯港駐車場料金による収入を増やすため、花火大会やウォーター・バトル、海辺の映画館などのイベントを実施しています。
また、税外収入を増やしていくため、大磯プリンスホテルの協力などもいただいて、ふるさと納税に力を入れています。

- 30 年前に商工会で駅からケーブルカーで港に行ける構想が出ていた。
秦野市でもそのような話があるが、大磯町ではいかがか。
また、港は砂利置き場ではなくレストラン等の施設がよいのではないか。
⇒ 秦野の事業者の事例は承知しています。大磯町では景観などの問題も生じてくるのではないかと思います。
大磯港の砂利置き場については県に対し、着岸のために年額 3 千万円の収入があります。港のレストランは江の島まで見える、目玉になるようなものになると思いますが、砂利置き場での収入である年額 3 千万円を超えるような収益を県が得られるようなものにすることが求められます。
- 防災について、ペットをゲージに入れて、小学校などに同伴避難することはできないか。
⇒ ペット同伴で避難できる場所を探しています。見通しが立ったらペット同伴避難のマニュアルを作ってもらい、ペット用備蓄品を用意し部屋の中で避難生活を送れるようにします。
- 町の防災対策として給水タンクの配備はありがたい。飲用水は確保できたと思うが、避難生活での洗濯などの生活用水はどうするのか。
⇒ 生活用水としては井戸水を考えています。町内には防災用井戸があり、地図に落とし分かりやすくしています。

以上